

事務事業名		市民文化会館運営事業		<input type="checkbox"/> 実施計画登載事業		<input type="checkbox"/> 総合戦略登載事業				
政策体系	政策名	0 3 豊かな心を育む人づくりの推進		事業期間		予算科目				
	施策名	1 4 生涯学習の推進				会計	款	項	目	事業
	基本事業名	0 1 学習環境の充実				01	02	01	10	03
根拠法令				<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始 20 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【計画期間】 年度～ 年度 ※全体計画欄の総投入量を記入		事務事業区分				
所属	部課名	企画政策部 市民文化会館				A 政策事業 B 施設整備 C 施設管理 D 補助金等 E 一般(A～D以外)				
	課長名	金野 優子								
	係名	総務係	電話						0192-26-4478	
	担当者	田代 昌幸	内線							
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)						全体計画(※期間限定複数年度のみ)				
具体的な業務は以下のとおり。 ○施設・設備の保守点検業務委託(入札(見積徴収)、契約、業務確認、支払手続) ○施設・設備の補修(要修繕箇所の把握、解決方法の検討、入札(見積徴収)、契約、業務確認、支払手続) ○施設・設備の改善(要改善箇所の把握、解決方法の検討、入札(見積徴収)、契約、業務確認、支払手続) ○施設・設備の取扱いに関する職員の技能・危機対応能力の向上(マニュアル作成、操作技術研修、防災・避難訓練等)						総投入量 (千円) 事業費 人件費	国庫支出金			
							都道府県支出金			
							地方債			
							その他			
							一般財源			
							事業費計(A)	0		
						正規職員従事人数				
						延べ業務時間				
						人件費計(B)	0			
						トータルコスト(A)+(B)	0			

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標									
① 手段(主な活動)	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)								
前年度実績(前年度に行った主な活動)	<table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>ア 施設・設備維持管理分保守点検業務件数</td> <td>件</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> </tr> </table>	名称	単位	ア 施設・設備維持管理分保守点検業務件数	件	イ		ウ	
名称	単位								
ア 施設・設備維持管理分保守点検業務件数	件								
イ									
ウ									
今年度計画(今年度に計画している主な活動)									
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)								
○市民文化会館の利用者	<table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>カ 年間入館者数</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>キ 市民文化会館延べ床面積</td> <td>m²</td> </tr> <tr> <td>ク</td> <td></td> </tr> </table>	名称	単位	カ 年間入館者数	人	キ 市民文化会館延べ床面積	m ²	ク	
名称	単位								
カ 年間入館者数	人								
キ 市民文化会館延べ床面積	m ²								
ク									
○市民文化会館施設									
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)								
施設・設備をいつでも安全かつ快適に利用できる。	<table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>サ 施設・設備に関する市民提言件数</td> <td>件</td> </tr> <tr> <td>シ 市民提言で改善された件数</td> <td>件</td> </tr> <tr> <td>ス 施設・設備の改善(業務委託発注)件数</td> <td>件</td> </tr> </table>	名称	単位	サ 施設・設備に関する市民提言件数	件	シ 市民提言で改善された件数	件	ス 施設・設備の改善(業務委託発注)件数	件
名称	単位								
サ 施設・設備に関する市民提言件数	件								
シ 市民提言で改善された件数	件								
ス 施設・設備の改善(業務委託発注)件数	件								
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか)									
芸術文化に親しむ場を提供し、芸術文化の振興と交流の促進を図る。									

(2) 総事業費・指標等の推移								
投入量	事業費	年度	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	元年度(目標)	2年度(目標)
	財源内訳	単位						
	国庫支出金	千円						
	都道府県支出金	千円						
	地方債	千円						
	その他	千円	16,738	17,892	15,132	13,136	15,000	15,000
	一般財源	千円	54,480	54,230	62,592	64,618	63,000	63,000
	事業費計(A)	千円	71,218	72,122	77,724	77,754	78,000	78,000
	人件費							
	正規職員従事人数	人	6	5	6	6	6	6
	延べ業務時間	時間	6,700	6,600	6,700	7,170	6,700	6,700
	人件費計(B)	千円	26,800	26,400	26,800	28,680	26,800	26,800
	トータルコスト(A)+(B)	千円	98,018	98,522	104,524	106,434	104,800	104,800
⑤ 活動指標	ア	件	20	20	22	22	22	22
	イ							
	ウ							
⑥ 対象指標	カ	人	117,340	121,730	108,871	102,357	110,000	110,000
	キ	m ²	7,875	7,875	7,875	7,875	7,875	7,875
	ク							
⑦ 成果指標	サ	件	1	4	3	0	3	3
	シ	件	0	1	0	0	2	2
	ス	件	0	0	0	1	1	1

事務事業ID	1332	事務事業名	市民文化会館運営事業
--------	------	-------	------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？	市民文化会館が、地域文化創造の拠点として、平成20年11月15日に市立図書館との複合施設として開館したことに伴い開始された。
② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？	指定管理について、大船渡市民文化会館管理運営基本計画(平成18年策定、29年3月改定)では、「公募により競争原理を活用し、経費を削減する考えだけでは指定管理に馴染まず、地域に根ざした文化の創造や芸術文化の発展を図れる法人が確たる実績と人材をもって請け負うべきもの」とされ、開館以来、市直営での管理運営を行っている。また、平成29年3月に策定した、大船渡市公共施設等総合管理計画では、「市民文化会館については、複合施設である市立図書館と合わせて、維持管理計画等を策定し、計画的な修繕や設備更新等に取り組むとともに、市の文化振興の方向性を見据え、長期的、総合的に施設の維持管理を図る」とし、前述と同じ理由で「市立図書館との整合性を確保したうえで、効率的な運営に努めつつ、慎重に判断する必要がある」としている。
③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？	施設の安全性や使いやすさが求められている。また、令和元年7月の大船渡市民文化会館運営審議会において、県内の指定管理制度の導入状況などを情報提供したが、全般的に指定管理に関する認識の程度があまり深くないと見受けられたことから、今後も適切な情報提供を行っていくこととする。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】 この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつかないか？意図することが結果に結びついているか？ 市民文化会館の施設・設備を適切に維持管理することは、生涯学習の推進及び学習環境の充実につながるものであり、政策体系に結びつく。
	② 公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】 なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？ 公立文化施設であり、特定の人を対象にした施設ではないので、公共関与の妥当性がある。
	③ 対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？ 利用者が常に安全かつ快適に利用できる環境を維持することは、対象・意図とも妥当である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？ 苦情等によって明らかになった改善箇所等を適切に処理したり、職員個々の研修等を重ねることで、成果を向上させる余地がある。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？ 市民文化会館の施設・設備が適切に維持管理されないことになり、会館の設置目的が達成されない。
効率性 評価	⑥ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など) コスト削減策としては、分野の異なる複数の保守点検業務を一括して委託することによる経費削減が考えられる。一方で、開館から10年が経過し施設、設備の改修、更新が必要となってくることから、今後はコスト削減以上に事業費が多額となることが想定され、削減することは難しい。
	⑦ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど) 人件費削減策としては、分野の異なる複数の保守点検業務を一括して委託することによる契約事務の簡略化が考えられる。また、保守点検等施設管理業務の多くは委託によって管理しているが、貸館等施設利用に係る受付管理対応を委託する余地はある。
公平性 評価	⑧ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？ 施設・設備は、使用頻度に比例して消耗・劣化するが、利用者が使用料を支払うことで受益と負担の公平性が確保されている。

3 今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 改革改善の方向性	(2) 改革・改善による期待成果																				
① 現状維持 ② 改革改善(縮小・統合含む) ③ 終了・廃止・休止	左記(1)の改革改善を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。(終了・廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td>●</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td></td> <td>×</td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	向上			●	維持			×	低下	×		×
	コスト																				
	削減	維持	増加																		
向上			●																		
維持			×																		
低下	×		×																		
(3) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等 施設・設備のきめ細かい維持管理及び改善を積み重ねることにより、来館者の利便性の向上と運営経費の節減が期待されるが、施設改善に関する市民提言等には、改善が不可能なものがあり、対応できかねることがある。大船渡市公共施設等総合管理計画に基づく、現在策定中の個別施設計画により、施設及び設備の改修及び更新を計画的に実施していく。																					

4 課長等意見

(1) 今後の方向性	(2) 全体総括・今後の改革改善の内容
① 現状維持 ② 改革改善(縮小・統合含む) ③ 終了・廃止・休止	施設及び設備の定期的保守点検等を継続し、安全かつ快適な環境を維持していく。個別施設計画による施設及び設備の改修及び更新を、計画的に実施していく必要がある。事業や運営に市民参画を図りながら、芸術文化の振興と交流の促進を効果的・効率的に達成する運営方法について、業務委託や指定管理者の導入など、経費削減について深く検討していく必要がある。